

顔面、頸部、背部、肩、胸部、前腕に色素脱失が混在している。体幹、顔面を含めた全身に皮膚硬化があり、特に両手指、前腕で硬化が強く、軽度拘縮がみられる。Modified Rodnan total skin thickness score (MRSS) は 37 点。舌小帯の短縮あり。爪上皮延長、nailfold bleeding および指尖の pitting scar もみられた。両側乳房はシリコンバッグによる豊胸術後で、明らかな硬結や癒痕・変形はなかった。(図 1、2)

病理組織像：左前腕伸側から皮膚生検を行った。表皮に著変なく、真皮上層血管周囲に軽度の細胞浸潤があり、真皮全層から皮下脂肪織にかけて、膠原線維は著明に増加し、膨化、均質化がみられる。(図 3)

臨床検査所見：血算は異常なし。ESR 41 mm/h と亢進し、生化学的検査でγグロブリン分画 22.2%、CK 129IU/l と軽度上昇している他は正常であった。

抗核抗体 1280 倍 (HN type)、抗 Scl-70 抗体 170.5 Index と陽性であった。胸部 CT では、両側大胸筋直下に境界明瞭で内部均一のやや high density を呈するシリコンバッグを認めた。(図 4) 内容物の流出や周囲の炎症を示唆する所見はみられなかった。両側下肺末梢にわずかに網状影を認めた。(図 5) 呼吸機能検査は正常。食道内圧検査で、食道中部から下部で軽度蠕動運動の低下を指摘され、食道病変が示唆された。心エコーでは、肺高血圧症を示唆する所見はなかった。

経過：2010 年 10 月 22 日、全身麻酔下に両側シリコンバッグ摘出術をおこなった。シリコンバッグは被膜に覆われていたが、癒着はなく容易に摘出され、明らかな破損や漏れもなかった。被膜を一部採取し、病理組織検査をおこなったところ、シリコンバッグに接していた面には、組織球を含む炎症細胞が疎らに集簇していたが、明らかな肉芽腫の形成はなかつ

た。巨細胞の増生もみとめられなかった。(図 6) 術後一ヶ月の時点で皮膚硬化は著変なく、経過観察中である。

C. 考案

1956 年に Pearson らは結核菌のリポポリサッカライド分画を含む完全アジュバントをラットに注射し、その 2 週間後に四肢の多発関節炎を認めたことから、アジュバント病と名付けた⁵⁾。1964 年、三好らは乳房形成の目的でパラフィン等の異物を乳房内に注入したのちに膠原病様症状を呈した症例をヒトアジュバント病として報告した¹⁾。ヒトアジュバント病の明確な診断基準は確立されていないが、熊谷らはその特徴として以下の 6 項目を挙げている⁶⁾。

1. 美容外科手術後に自己免疫疾患様症状が生じること。
2. アジュバント効果のあるパラフィン、シリコンなどの体内注入の既往があること。
3. 異物肉芽腫が注入部位および所属リンパ節に認められること。
4. 血清学的異常を伴うこと。
5. 感染や悪性腫瘍が否定できること。
6. 異物除去によって症状が改善すること。

本症例では、シリコンバッグによる豊胸術を受けた 6 年後に全身性強皮症を呈した。シリコンバッグに明らかな破損や漏れはなく、採取した部分の被膜からは肉芽種形成や巨細胞のはみられなかった。しかし、豊胸術で使用されるシリコンバッグは半透膜であり、シリコンの slow leakage が起ることがあるとの報告もある⁷⁾。今回採取した以外の部位でこのような現象が生じ、なんらかの反応を起こしていた可能性は否定できないと思われた。ヒトアジュバント病を疑った場合、異物除去による症状の改善が診

断の根拠ともなる⁶⁾。しかし、異物除去後も改善を認めなかった報告もあり⁸⁾、その効果は一定していない。また、異物除去により発熱や関節痛などの急性期症状は速やかに軽快するのに対し、皮膚硬化などの慢性期症状は軽快しないという傾向も指摘され、異物除去による症状軽快は診断上必須ではないとの意見もある⁹⁾。本症例では皮膚硬化が主症状であり、術後1ヶ月の時点では症状の軽快はみられていない。

1983年から2009年までの過去26年間の本邦ヒトアジュバント病報告例の中、比較的詳細な記述のある56症例の検討では、56例中34例で異物除去術がおこなわれており、うち22例で症状の軽快がみられ、8例で変化なし、4例は経過観察中であった。

竹原らは、豊胸術後に生じた全身性強皮症16症例を検討し、通常の全身性強皮症と比較して皮膚硬化の様式がモルフェア様局面を呈していたり、病変が連続性ででないなどの非定型的である点、抗核抗体陰性または、陽性であっても特異的抗体が陰性である点を特徴として挙げている¹⁰⁾。表1に竹原らの検討以降に報告された本症例を含む18症例のまとめを示す。豊胸術の内容については多くがシリコンの直接注入であり、シリコンバッグ挿入後に生じた例は、本症例を含め3例のみである。病型としてはdiffuse typeが多く、8割を超える。本症例を含め数ヶ月の経過で皮膚硬化が進行した例が4例報告されているが、他にモルフェア様局面など非定型的皮膚硬化を呈した例はみられなかった。抗Scl-70抗体陽性例は5例報告されている。

全身性強皮症の病型は、diffuse typeが29.7%、limited typeが70.3%であり¹¹⁾、一般的にlimited typeが多いとされている。今回検討した豊胸術後に生じた全身性強皮症18例ではdiffuse typeが88.9% (16例)、limited typeが11.1% (2例) とdif-

fuse typeが多く、通常の全身性強皮症と異なる傾向を示している。

近年、欧米を中心とする疫学的検討では、シリコンバッグによる豊胸術とヒトアジュバント病の発症との関連は否定的とする報告が多い^{3,4)}。一方これらの検討に軽症例や非典型例が含まれない可能性があること、豊胸術後のfollow upの期間が短い(ヒトアジュバント病の発症までに平均期間は本邦例で22.9年であるのに対し、これらの調査期間は最長で10年程度である。) ことなど検討自体の不備を指摘する意見もある¹²⁾。またある種のヒトアジュバント病の発症と特定のHLAが関与があるとする報告もある¹³⁾。

シリコンバッグによる豊胸術と膠原病との関連は不明であるが、ヒトアジュバント病として診断された症例のうち強皮症の割合が多いこと、またその強皮症の中でも病型としてdiffuse typeがlimited typeより多いことなどの特徴を有している。自験例において、シリコンバッグ豊胸術が病態の形成に関与した可能性は否定できないと考える。

D. 文献

1. 三好和夫、他：人体における adjuvant 加遷延感作を思わせる高 γ グロブリン血症—乳房形成術の後にみられた障害—。日医新報 2122: 9-14, 1964
2. 鈴木かやの、青木見佳子、竹崎伸一郎、他：多彩な膠原病類似症状を呈したヒトアジュバント病。J Nippon Med Sch, 2003; 70: 283-287.
3. Janowsky EC, et al: Meta-analysis of the relation between silicone breast implants and the risk of connective-tissue disease. N Engl J Med, 2003; 342: 781-790.

4. Jon P. Fryzek, et al: A nationwide study of connective tissue disease and other rheumatic conditions among Danish women with long-term cosmetic breast implantation. *Ann epidemiol*, 2007; 17: 374-379.
5. Pearson CM: Development of arthritis, peri-arthritis and periostitis in rats given adjuvants. *Proc Soc Exp Biol Med*, 1956; 91: 95-101.
6. Kumagai Y: Scleroderma after cosmetic surgery. *Arthritis Rheum*, 1979; 22: 532-537.
7. Spiera H: Scleroderma after silicone augmentation mammoplasty. *JAMA* 260: 236-238, 1988
8. Varga J: Systemic sclerosis after augmentation mammoplasty with silicone implants. *Annals of internal medicine* 1989; 111: 377-383.
9. 熊谷安夫: 臨床免疫 21: 726, 1989
10. 竹原和彦: 皮膚臨床 35(3); 369-374, 1993
11. 秋本幸子: 全身性強皮症の臨床像と特異抗体の関連。日皮会誌: 111(5), 827-836, 2001
12. Levy Y: Silicone breast implantation-induces scleroderma: description of four patients and a critical review of the literature. *Lupus* 2009; 18: 1226-1232
13. O'Hanlon T, et al: *Arth Rheum* 2004; 50: 3646-3650

E. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
第34回皮膚脈管膠原病研究会

F. 知的所有権の出願・登録状況

なし



図1: 右上腕。



図2: シリコンバッグによる豊胸術後。

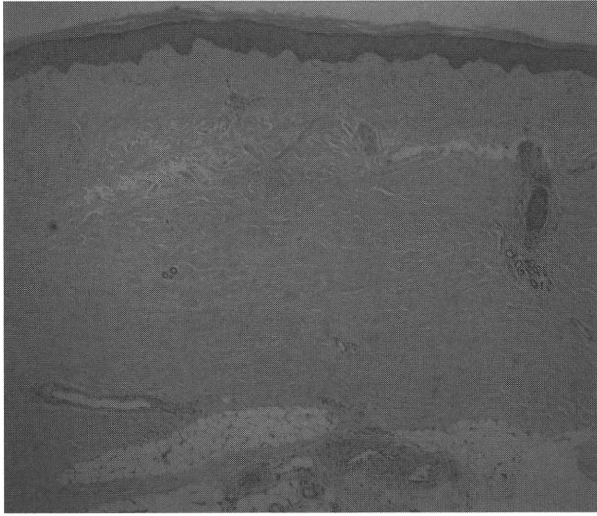


図3：左前腕伸側生検組織像。



図5：胸部CT。両下肺に軽度網状影あり。

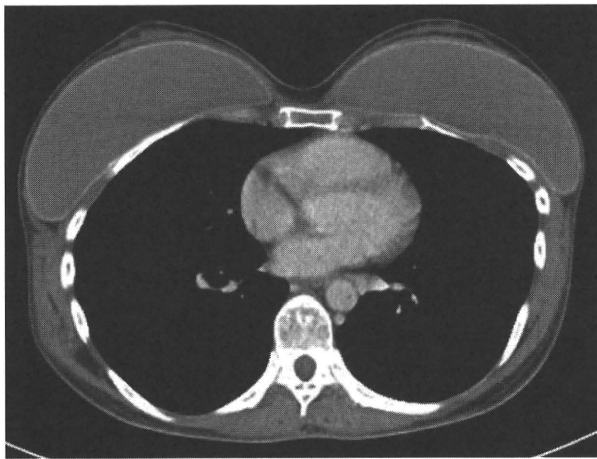


図4：胸部CT。シリコンバッグが挿入されている。

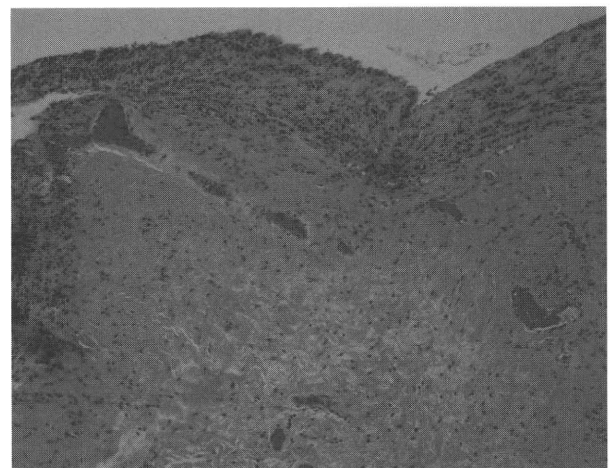


図6：シリコンバッグ周囲被膜組織像。

表1. 本邦における豊胸術後強皮症 18 症例のまとめ (1983~2010 年)

症例	女性 18 例 男性 0 例
年齢	平均 52.4 歳 (30~72 歳)
手術内容	シリコン注入 9 例 パラフィン注入 1 例 シリコンバッグ 3 例 (うち 1 例で破裂あり) 不詳 5 例
発症までの期間	平均 18.5 年 (2?35 年 : 記載なし 3 例を除く)
病型	limited cutaneous SSc 2 例 diffuse cutaneous SSc 16 例
自己抗体	抗核抗体陽性 11 例 陰性 2 例 不明・記載なし 4 例 抗 Scl-70 抗体 5 例 抗 DNA 抗体、LA、抗 SS-A、抗ミトコンドリア抗体 各 1 例
間質性肺炎の有無	あり 9 例 なし 9 例
合併症	強皮症腎 2 例 シェーグレン症候群 4 例 SLE 2 例 筋炎 3 例 関節リウマチ 1 例 PBC 1 例

※ SSc : Systemic sclerosis

全身性強皮症における血中 total antioxidant power (TAP) の臨床的意義

研究分担者 小川文秀 長崎大学病院皮膚科・アレルギー科 講師

協力者 吉崎 歩 国立病院機構長崎病院皮膚科

研究代表者 佐藤伸一 東京大学医学部附属病院皮膚科 教授

研究要旨

酸化ストレスは全身性強皮症 (systemic sclerosis; SSc) の組織障害に非常に重要な役割をはたしていると考えられている。Total antioxidant power (TAP) は銅の還元能を利用して生体内の抗酸化力を測定する方法である。TAP を SSc 患者血清中と健常人とで測定したところ SSc 患者では健常人と比較して有意な TAP の上昇が認められた。また、TAP は腎血管抵抗や CRP、また、血圧、血中のレニン活性との相関も認められた。以上の結果より、SSc 患者と酸化ストレスの関与が改めて確認できた。

A. 研究目的

SSc は皮膚および内臓諸臓器の線維化を特徴とする膠原病であり、全身性免疫疾患に分類されている。しかし、SSc の病因はいまだ解明されておらず、酸化ストレスは SSc の血管障害や線維化そして抗核抗体の産生に関与している可能性が示唆されている^{1,2)}。SSc と酸化ストレスの関連としてこれまで我々はエイコサノイドの一種で生体内で酸化ストレスの結果生じる 8-isoprostane が SSc 血清中で上昇していることやその臨床症状、検査値との相関を報告してきた³⁾。酸化ストレスは生体内で reactive oxidative species (ROS) を発生し、シグナル伝達をはじめとしていろいろな影響をもたらす。このような酸化ストレスに対して生体内には様々な防御機構が存在する。その中には superoxide dismutase や glutathione s-transferase、thioredoxin などがある。また、非酵素的なものとしてはグルタチオン、アスコルビン酸、 α トコフェロールなどがある。このように生体内には多数の抗酸化機構が存在するために、

生体内での抗酸化力をトータルで測定することは非常に重要になってくると思われる。TAP は銅の還元能を利用して抗酸化力を測定するシステムであり、生体内での抗酸化力を測定することができる。そこで、今回、SSc 血中の TAP を測定し、臨床症状との相関を比較した。

B. 研究方法

1) 対象患者

対象患者は SSc 49 例 (女性 41 例、男性 8 例) であり、年齢は 50.3 ± 17.1 歳であった。病型別では limited cutaneous SSc (lSSc) が 22 例であり、diffuse cutaneous SSc (dSSc) が 27 例であった。lSSc と dSSc の罹病期間はそれぞれ、 10.3 ± 10.1 、 2.9 ± 3.1 年であった。初診時にステロイド、D-ペニシラミン、他の免疫抑制剤にて治療されていた患者は除外した。自己抗体として抗トポイソメラーゼ I 交代陽性例が 22 例、抗セントロメア抗体陽性例が 17 例、抗 U1RNP 抗体陽性例が 2 例、抗 U3RNP 抗体陽性例が

1例、抗RNAポリメラーゼ抗体陽性例5例、抗Th/To抗体陽性例が1例であった。23例の健常人をコントロールとして用いた。臨床評価は皮膚症状をはじめ、各種血液検査、呼吸機能検査(%VC、%DLco)、カラードップラー法による腎血管抵抗(pulsatility index; PI)なども測定した。

研究の同意は倫理面に配慮し、インフォームドコンセントにより同意を取得した。また、採取したサンプルは匿名化し、個人が特定できないようにした。採血およびサンプルの解析に関しては倫理委員会の承認を得ているため、倫理的な問題はないと判断している。

C. 研究結果

1) SScにおける血清中 TAP 値

dSSc、ISSc患者における血清中 TAP は健常人と比較し有意に上昇していた ($p < 0.05$)。一方、ISSc患者と dSSc患者では有意な差は認められなかった。

2) SScにおける血清中 TAP 値と臨床所見との相関

初診時における血清中 TAP 値と臨床相関を検討すると、収縮期血圧と血中 TAP 値の相関 ($r = 0.41$, $p < 0.01$) が認められた。また、血中のレニン活性でも同様に正の相関が認められた ($r = 0.38$, $p < 0.01$)。腎臓に関しては、腎血管抵抗と正の相関が認められ ($r = 0.35$, $p < 0.05$)、レノグラムであらわされる腎血流量とは負の相関が認められた ($r = -0.41$, $p < 0.01$)。以上のことより血中の TAP は腎血管障害と相関する可能性が示された。また、CRP とも有意な正の相関が確認できた ($r = 0.35$, $p < 0.05$)。また、SSc患者を TAP が高値な群と低値な群に分類し、臨床症状との相関を比較した結果、TAP が高値な群において指尖癬痕が少なかった (表1)。

D. 考案

今回の研究で、SSc患者血清中 TAP が健常人と比較し有意に上昇していることが確認できた。我々は以前にも、SSc患者血清中で、酸化ストレスのマーカである 8-isoprostane、ストレスマーカである Hsp70 が有意に増加していることを報告してきた^{3,4)}。また、抗酸化酵素である peroxiredoxin に対する自己抗体が強皮症患者で認められ、臨床症状との相関があることも報告した⁵⁾。これらの結果より、酸化ストレスは SSc の病態形成に非常に重要な役割をはたしていることが示唆された。

TAP は CRP と正の相関が認められたが、SSc の病型間 (dSSc、ISSc) では有意な差は認められなかった。TAP が生体内での総合的な抗酸化力を示しているマーカだということを考えると、CRP と相関し、指尖癬痕のない群で高値を示していることを考えると、TAP は末梢循環障害に対する保護能を示すマーカとなりうるかもしれない。

また、今回の結果では、TAP は収縮期血圧、血漿レニン活性、腎血管抵抗との相関が認められた。さらに、腎血流量との逆相関が確認できた。SSc では腎血管抵抗は血漿レニン活性と相関することが知られている⁶⁾。また、SSc では腎血管抵抗の増加は臨床的に腎不全徴候がなくても増加することが報告されている⁷⁾。以上のことから、血清中 TAP は SSc の腎血管障害に密接に関連していることが考えられる。

このように SSc では、酸化ストレスにより様々な臓器障害が発生し、それが、TAP を含めた抗酸化システムを活性化している可能性が考えられた。

E. 結論

SSc患者血清中 TAP は SSc の特に血管障害と相関が深いことが示され、SSc の病態形成に酸化スト

レスが重要な役割をはたしていることが示唆された。

F. 文 献

1. Herrick AL, Rieley F, Schofield D, Hollis S, Braganza JM, Jayson MI. Micronutrient antioxidant status in patients with primary Raynaud's phenomenon and systemic sclerosis. *J Rheumatol*. 1994 Aug; 21(8): 1477-83.
2. Sambo P, Baroni SS, Luchetti M, Paroncini P, Dusi S, Orlandini G, Gabrielli A. Oxidative stress in scleroderma: maintenance of scleroderma fibroblast phenotype by the constitutive up-regulation of reactive oxygen species generation through the NADPH oxidase complex pathway. *Arthritis Rheum*. 2001 Nov; 44(11): 2653-64.
3. Ogawa F, Shimizu K, Muroi E, Hara T, Hasegawa M, Takehara K, Sato S. Serum levels of 8-isoprostane, a marker of oxidative stress, are elevated in patients with systemic sclerosis. *Rheumatology (Oxford)*. 2006 Jul; 45(7): 815-8.
4. Ogawa F, Shimizu K, Hara T, Muroi E, Hasegawa M, Takehara K, Sato S. Serum levels of heat shock protein 70, a biomarker of cellular stress, are elevated in patients with systemic sclerosis: association with fibrosis and vascular damage. *Clin Exp Rheumatol*. 2008 Jul-Aug; 26(4): 659-62.
5. Iwata Y, Ogawa F, Komura K, Muroi E, Hara T, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Tomita Y, Sato S. Autoantibody against peroxiredoxin I, an antioxidant enzyme, in patients with systemic sclerosis: possible association with oxidative stress. *Rheumatology (Oxford)*. 2007 Feb 19.
6. Aikimbaev KS, Canataroglu A, Ozbek S, Usal A.

Renal vascular resistance in progressive systemic sclerosis: evaluation with duplex Doppler ultrasound. *Angiology*. 2001 Oct; 52(10): 697-701.

7. Rivolta R, Mascagni B, Berruti V, Quarto Di Palo F, Elli A, Scorza R, Castagnone D. Renal vascular damage in systemic sclerosis patients without clinical evidence of nephropathy. *Arthritis Rheum*. 1996 Jun; 39(6): 1030-4.

G. 研究発表

1. 論文発表
現在、英文雑誌に投稿中である。
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

表 1. 血清 TAP 値と臨床症状などとの相関

	high TAP level n=12	low TAP level n=37
Age at onset, yrs, mean \pm SD	44 \pm 18	48 \pm 16
Sex, F:M	9:3	32:5
Duration, yrs, mean \pm SD	5.4 \pm 7.3	6.3 \pm 8.1
<i>Clinical features</i>	6*	34
Pitting scars	14	37
Short sublingual frenulum	10	35
Contracture of phalanges	14	39
Diffuse pigmentation	13.7 \pm 12.6	13.8 \pm 9.7
modified Rodnan TSS, mean \pm SD		
<i>Organ involvement</i>		
Lung		
Pulmonary fibrosis	12	29
Pulmonary hypertension	2	10
Decreased %VC	9	19
Decreased %DLco	26	51
Esophagus	17	52
Heart	6	8
Kidney		
Increased vascular resistance	5	8
Renal crisis	0	2
Joint	8	12
Muscle	8	12
<i>Laboratory findings</i>		
Anti-topoisomerase I antibody	12	32
Anticentromere antibody	6	29
Anti-U1RNP antibody	4	6
Positive rheumatoid factor	4	11
Elevated ESR	10	14
Elevated CRP	4	10
Increased IgG	10	22

Values are percentages. The cut off value was set to 672.8 μ M.

TAP: total antioxidant power, ESR: erythrocyte sedimentation rates, CRP: C-reacting protein, TSS: total skin thickness score

*Serum TAP levels increased in SSc patients without pitting scars than those with it ($p < 0.05$).

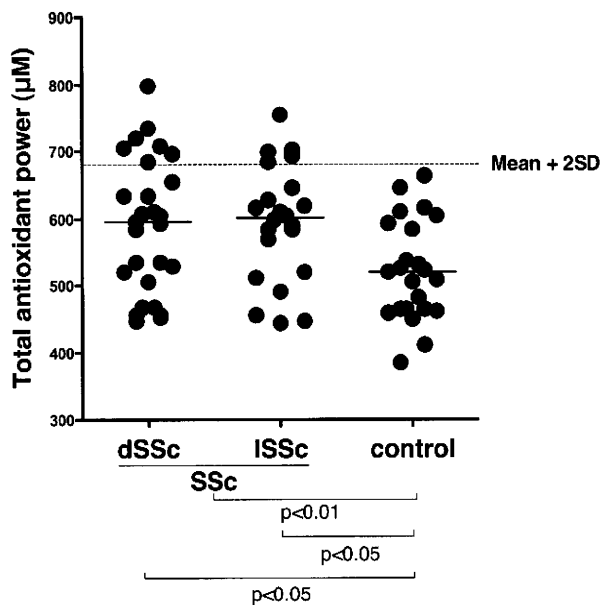


図1：血中の TAP の比較。SSc 患者は健常人と比較して有意に高値な TAP を示している。

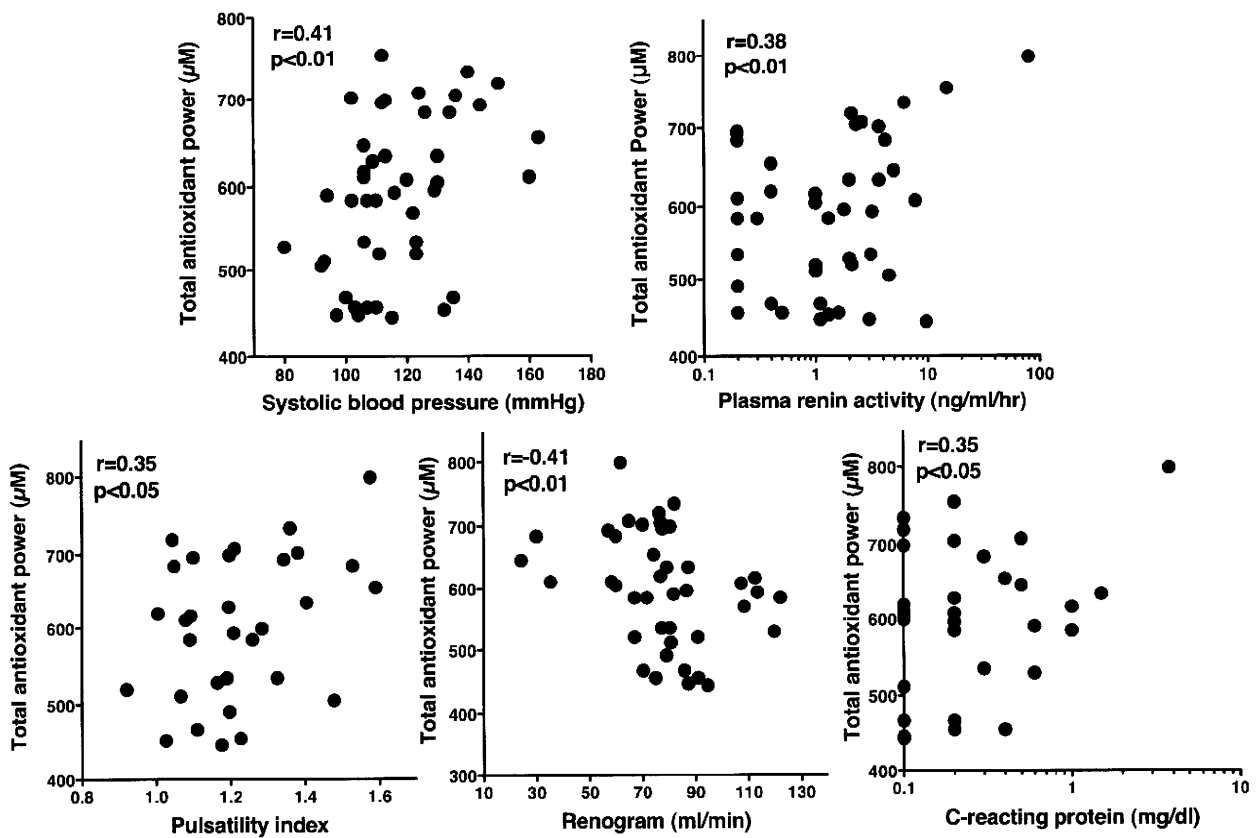


図2：SSc 患者血中 TAP と臨床検査値の相関

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

【書籍】

No.	著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
1	佐藤伸一	強皮症の重症度分類と治療指針	宮地良樹（編）	What's New in 皮膚科学 2010-2011	メディカルレビュー社	東京	2010	128
2	Hasegawa M, Sato S	Connective Tissue Diseases.	Krieg T, Bickers D, Miyachi Y	Therapy of Skin Diseases,	Springer-Verlag	Berlin	2010	407-426
3	佐藤伸一	リウマチ性疾患の皮膚病変のみかた	日本リウマチ学会（編）	リウマチ病学テキスト	診断と治療社	東京	2010	81-87
4	佐藤伸一	【他科とのコンサルテーション】皮膚科	三森経世（編）	リウマチ・膠原病内科ク リニカルスタンダード	文光堂	東京	2010	287-291
5	佐藤伸一	全身性強皮症	瀧川雅浩, 渡辺晋一（編）	皮膚疾患最新の治療 2011-2012	南山堂	東京	2010	92-96
6	石川 治	知らないと困る皮膚症状	木村友厚編	リウマチ診療の要点と盲点	文光堂	東京	2010	36-40
7	石川 治	皮疹の診かた 診断と病理推論	石川 治, 田村敦志編	皮疹から診る皮膚病理	南江堂	東京	2010	2-11
8	石川 治	皮膚科医からのアンチエイジング・アドバイス	米井嘉一編	抗加齢医療 その最前線 の実際	新興医学出版社	東京	2010	116-119
9	永井弥生 石川 治	Nephrogenic systemic fibrosis と造影剤	宮地良樹編	What' new in 皮膚科学	メディカルレビュー社	東京	2010	136-137
10	伊 浩信	ステロイド内服薬の正しい漸減療法について	大谷道輝, 宮地良樹（編）	薬局で役立つ皮膚科治療薬 FAQ	メディカルレビュー社	東京	2010	164-165
11	遠藤平仁	生物学的製剤不応症例に対する治療戦略	竹内勤（編）	ファーマナビゲータ リ ウマチ - 生物学的製剤 -	メヂカルレビュー社	東京	2010	76 - 83
12	遠藤平仁	口腔粘膜アフタを繰り返す 40 歳女性	池田修一（編）	視診触診でわかる内科疾患の診かた	金原出版社	東京	2010	153 - 154
13	遠藤平仁	手背、肘、膝に紅斑、四肢脱力をきたした 58 歳女性	池田修一（編）	視診触診でわかる内科疾患の診かた	金原出版社	東京	2010	179 - 180
14	遠藤平仁	手指の硬化、こわばり感、潰瘍が出現した 50 歳の女性	池田修一（編）	視診触診でわかる内科疾患の診かた	金原出版社	東京	2010	181 - 182
15	桑名正隆	レイノー症候群	横田千津子、池田宇一、大越教夫	病気と薬パーフェクト BOOK 2010	南山堂	東京	2010	779
16	桑名正隆	全身性強皮症	横田千津子、池田宇一、大越教夫	病気と薬パーフェクト BOOK 2010	南山堂	東京	2010	792-794
17	桑名正隆	強皮症	泉孝英	ガイドライン外来診療 2010	日経メディカル開発	東京	2010	465-466
18	桑名正隆	強皮症	三森経世	リウマチ・膠原病内科ク リニカルスタンダード	文光堂	東京	2010	86-96
19	桑名正隆	好酸球性筋膜炎	山本一彦、豊島良太	リウマチ病学テキスト	診断と治療社	東京	2010	422-424
20	桑名正隆	びまん性好酸球性筋膜炎	高久史麿、猿田享男、北村惣一郎、福井次矢	家庭医学大全科	法研	東京		印刷中
21	桑名正隆	好酸球性筋膜炎	山本一彦、豊島良太、高久史麿、小池隆夫	リウマチ病学テキスト	診断と治療社	東京		印刷中
22	桑名正隆	全身性硬化症（強皮症）	久保恵嗣、藤田次郎	間質性肺疾患診療マニュアル	南江堂	東京	2010	228-233
23	桑名正隆	強皮症	高久史麿、猿田享男、北村惣一郎、福井次矢	六訂版家庭医学大全科	法研	東京	2010	2660-2662
24	桑名正隆	好酸球性筋膜炎	高久史麿、猿田享男、北村惣一郎、福井次矢	六訂版家庭医学大全科	法研	東京	2010	2662
25	桑名正隆	ヒトアジュバント病	高久史麿、猿田享男、北村惣一郎、福井次矢	六訂版家庭医学大全科	法研	東京	2010	2663
26	桑名正隆	レイノー症候群	横田千津子、池田宇一、大越教夫、大井一弥、丸山徹、高村徳人、伊藤由紀	病気と薬パーフェクト BOOK 2011	南山堂	東京		印刷中
27	桑名正隆	全身性強皮症	横田千津子、池田宇一、大越教夫、大井一弥、丸山徹、高村徳人、伊藤由紀	病気と薬パーフェクト BOOK 2011	南山堂	東京		印刷中

No.	著者氏名	論文タイトル	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
28	藤本 学	皮膚疾患の基礎知識 強皮症	大谷道輝, 宮地良樹編	薬局で役立つ皮膚科治療薬 FAQ	メディカルレビュー社	大阪	2010	138-141
29	藤本 学	強皮症, 皮膚筋炎の症状と自己抗体	戸倉新樹編著	ファーストステップ 皮膚免疫学	中外医学社	東京	2010	150-157
30	土屋尚之	病因	竹内勤 (編)	最新医学別冊「新しい診断と治療のABC 67 全身性エリテマトーデス」	最新医学社	大阪	2010	58-71
31	長谷川稔	膠原病・血管炎/強皮症のステロイド適応は?	宮地良樹編	WHAT'S NEW in 皮膚科学	メディカルレビュー社	大阪	2010	138-139
32	山崎雅英	抗リン脂質抗体症候群	嘉数直樹・岡本真一郎 (編)	「New 専門医を目指す ケース・メソッド・アプローチ 3 血液疾患」	日本医事新報社	東京	2010	印刷中
33	波多野将	心臓リハビリテーションに必要な病態の評価 人工心臓装着後	長山雅敏 (責任編集)	循環器臨床サピア4 心臓リハビリテーション実践マニュアル 評価・処方・患者指導	中山書店	東京	2010	46-51

【雑誌】

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
1	浅野善英, 佐藤伸一	皮膚科 どのような場合に皮膚科へコンサルトするか	リウマチ・膠原病内科クリニカルスタンダード		287-291	2010
2	Yanaba K, Sato S	Bortezomib: a promising treatment for inflammatory disease.	J Clin Rheumatol	5	513-514	2010
3	浅野善英, 佐藤伸一	汎発性強皮症とI型インターフェロン	炎症と免疫	18(1)	53-59	2010
4	佐藤伸一	限局性強皮症の診断と治療	皮膚科の臨床	52(8)	1047-1056	2010
5	佐藤伸一	抗RNA抗ポリメラーゼ抗体	皮膚病診療	32(8)	904	2010
6	佐藤伸一	どうみる? どう読む? 膠原病の皮疹	日本臨床皮膚科医会雑誌	27(4)	462-466	2010
7	浅野善英, 佐藤伸一	強皮症: EULARガイドラインからみた治療選択	リウマチ科	44(3)	280-286	2010
8	浅野善英, 佐藤伸一	全身性強皮症	カレントセラピー	28(10)	920-924	2010
9	Muroi E, Ogawa F, Yamaoka T, Suyoshi F, Sato S	Case of localized scleroderma associated with osteomyelitis.	J Dermatol	37(1)	81-84	2010
10	Hara T, Shimizu K, Ogawa F, Yanaba K, Iwata Y, Muroi E, Takenaka M, Komura K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S	Platelets control leukocyte recruitment in a murine model of cutaneous arthus reaction.	Am J Pathol	176(1)	259-269	2010
11	Bae SJ, Shimizu K, Yozaki M, Yamaoka T, Akiyama Y, Yoshizaki A, Muroi E, Hara T, Ogawa F, Sato S	Involvement of L-selectin in contact hypersensitivity responses augmented by auditory stress.	Am J Pathol	176(1)	187-197	2010
12	Ashida R, Asano Y, Tamaki Z, Tomita M, Kawashima T, Akamata K, Sato S	Close association of anti-U1 ribonucleoprotein antibody with drug allergy in patients with connective tissue diseases.	J Dermatol Sci	60(1)	56-57	2010
13	Yanaba K, Yoshizaki A, Muroi E, Hara T, Ogawa F, Shimizu K, Sato S	The proteasome inhibitor bortezomib inhibits T cell-dependent inflammatory responses.	J Leukoc Biol	88(1)	117-122	2010
14	Kawashima T, Tada Y, Asano Y, Yazawa N, Tomita M, Tamaki Z, Kubo M, Ihn H, Sugaya M, Kadono T, Tamaki K, Sato S	Serum TARC/CCL17 levels are increased in dermatomyositis associated with interstitial lung disease.	J Dermatol Sci	60(1)	52-54	2010
15	Noda S, Asano Y, Tamaki Z, Takekoshi T, Sugaya M, Sato S	A case of dermatomyositis with liver disease associated with rheumatoid diseases positive for anti-liver-kidney microsome-1 antibody.	Clin Rheumatol	29(8)	941-943	2010
16	吉崎歩, 穂山雄一郎, 築場広一, 小川麻子, 室井栄治, 小川文秀, 佐藤伸一	: 全身性強皮症合併間質性肺炎に対するシクロホスファミドパルス療法後の維持療法としてミゾリピンを用いた2例.	日本皮膚科学会雑誌	120(8)	1659-1664	2010
17	Asano Y, Ihn H, Jinnin M, Tamaki K, Sato S	Alters dynamic of TGF- β receptors in scleroderma fibroblasts.	Ann Rheum Dis	in press		2010
18	Tomita M, Kaodono T, Yazawa N, Kawashima T, Tamaki Z, Ashida R, Ohmatsu H, Asano Y, Sugaya M, Kubo M, Ihn H, Tamaki K, Sato S	Serum levels of soluble CD21 in patients with systemic sclerosis.	Rheumatol Int	in press		2010
19	Yanaba K, Yoshizaki A, Muroi E, Ogawa F, Asano Y, Kadono T, Sato S	Serum CCL23 levels are increased in patients with systemic sclerosis.	Arch Dermatol Res.	in press		2010
20	Morimoto N, Murata Y, Motegi SI, Suzue K, Saito Y, Okazawa H, Ohnishi H, Kotani T, Kusakari S, Ishikawa O, Matozaki T	Requirement of SIRP α for protective immunity against Leishmania major.	Biochem Biophys Res Commun.	401(3)	385-389	2010
21	Ishibuchi H, Abe M, Yokoyama Y, Ishikawa O	Induction of matrix metalloproteinase-1 by small interfering RNA targeting connective tissue growth factor in dermal fibroblasts from patients with systemic sclerosis.	Exp Dermatol	19(8)	e111-e116	2010
22	Ogawa A, Obinata H, Hattori T, Kishi M, Tatei K, Ishikawa O, Izumi T	Identification and analysis of two splice variants of human G2A generated by alternative splicing.	J Pharmacol Exp Ther	332(2)	469-478	2010
23	Nagai Y, Igarashi N, Ishikawa O	Case report: Lupus pemio with multiple bone cysts in the fingers.	J Dermatol	37(9)	812-814	2010
24	Abe M, Yasuda M, Yokoyama Y, Ishikawa O	Successful treatment of combination therapy with tacalcitol lotion associated with sunscreen for localized Darier's disease.	J Dermatol	37(8)	718-721	2010
25	Yasuda M, Okada E, Nagai Y, Tamura A, Ishikawa O	Reactive proliferation of endothelial cells and pericytes associated with arteriovenous malformation.	J Dermatol	37(4)	363-366	2010
26	Abe M, Inoue C, Yokoyama Y, Ishikawa O	Successful treatment of Darier's disease with adapalene gel.	Pediatr Dermatol		1-2	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
27	Nagai Y, Mizuno T, Yoshizawa C, Ishikawa O	Fatal interstitial pneumonia in juvenile dermatomyositis.	Eur J Dermatol.	20(2)	208-210	2010
28	Kuraishi N, Nagai Y, Hasegawa M, Ishikawa O	Lichenoid drug eruption with palmoplantar hyperkeratosis due to imatinib mesylate: a case report and a review of the literature.	Acta Derm Venereol	90(1)	73-76	2010
29	Shimizu A, Tamura A, Yamanaka M, Amano H, Nagai Y, Ishikawa O.	Case of livedoid vasculopathy with extensive dermal capillary thrombi.	J Dermatol	37(1)	94-97	2010
30	Abe M, Yokoyama Y, Ishikawa O	Successful treatment of disseminated superficial actinic porokeratosis with tacalcitol lotion	J Dermatol	37(10)	913-915	2010
31	Igata T, Jinnin M, Makino T, Moriya C, Muchemwa F, Ishihara T, Ihn H.	Up-regulated type I collagen expression by the inhibition of Rac1 signaling pathway in human dermal fibroblasts.	Biochem Biophys Res Commun	393	101-105	2010
32	Makino T, Jinnin M, Muchemwa F, Fukushima S, Ihn H.	Basic fibroblast growth factor stimulates the proliferation of human dermal fibroblasts via the ERK1/2 and JNK pathways.	Br J Dermatol	162	717-723	2010
33	Jinnin M, Makino T, Kajihara I, Honda N, Makino K, Ogata A, Ihn H.	Serum levels of soluble vascular endothelial growth factor receptor-2 in patients with systemic sclerosis.	Br J Dermatol	162	751-758	2010
34	Higashi-Kuwata N, Jinnin M, Makino T, Fukushima S, Inoue Y, Muchemwa FC, Yonemura Y, Komohara Y, Takeya M, Mitsuya H, Ihn H.	Characterization of monocyte/macrophage subsets in the skin and peripheral blood derived from patients with systemic sclerosis.	Arthritis Res Ther	12	R128 (1-10)	2010
35	Honda N, Jinnin M, Kajihara I, Makino T, Fukushima T, Ihn H.	Impaired lymphangiogenesis due to excess VEGF-D/Flt-4 signaling in the skin of patients with systemic sclerosis.	Br J Dermatol	163	776-780	2010
36	Asano Y, Ihn H, Jinnin M, Tamaki K.	Altered dynamics of TGF- β receptors in scleroderma fibroblasts	Ann Rheum Dis	in press		
37	Tomita M, Kadono T, Yazawa N, Kawashima T, Tamaki Z, Ashida R, Ohmatsu H, Asano Y, Sugaya M, Kubo M, Ihn H, Tamaki K, Sato S.	Serum levels of soluble CD21 in patients with systemic sclerosis.	Rheumatol Int	in press		
38	Nakayama W, Jinnin M, Makino T, Kajihara I, Makino T, Fukushima S, Inoue Y, Ihn H.	Serum levels of soluble CD163 in patients with systemic sclerosis	Rheumatol Int	in press		
39	尹 浩信	全身性強皮症の基礎的病態—最近の知見—	日本胸部臨床	3	183-190	2010
40	尹 浩信	TGF- β と全身性強皮症	Mebio	27	110-118	2010
41	尹 浩信	γ グロブリン大量静注療法：その作用機序と膠原病に対する有効性	Monthly Book Derma	169	65-69	2010
42	Akashi N, Matsumoto I, Tanaka Y, Inoue A, Yamamoto K, Tanaka Y, Umeda N, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sekiguchi K, Sumida T.	Comparative suppressive effect in models of autoimmune arthritis by tyrosine kinase inhibitors imatinib and nilotinib.	Modern Rheumatology	in press		
43	Hikami K, Kawasaki A, Ito I, Koga M, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Tsutsumi A, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Arinami T, Sumida T, Tsuchiya N.	Association of a functional polymorphism in the 3' untranslated region of SPI1 with systemic lupus erythematosus.	Arthritis Rheum	in press		
44	Tsuboi H, Wakamatsu E, Iizuka M, Nakamura Y, Sugihara M, Suzuki T, Ogishima H, Hayashi T, Goto D, Ito S, Matsumoto I, Sumida T.	?Importance of serine727 phosphorylated STAT1 in IFN γ -induced signaling and apoptosis of human salivary gland cells.?	International Journal of Rheumatic Diseases	in press		
45	Horikoshi M, Suzuki T, Sugihara M, Kondo Y, Tsuboi H, Uehara T, Hama M, Takase K, Ohno S, Ishigatsubo Y, Yoshida Y, Sagawa A, Ikeda K, Ota T, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	Comparison of low-field dedicated extremity magnetic resonance imaging with articular ultrasonography in patients with rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology	in press		
46	Hayashi T, Ito S, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	Elevated level of serum cystatin-C concentration is a useful predictor for myelosuppression induced by methotrexate for treatment of rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology	in press		
47	Kawasaki A, Ito I, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T and Tsuchiya N.	Association of TNFAIP3 polymorphism with susceptibility to systemic lupus erythematosus in a Japanese population.	Journal of Biomedicine and Biotechnology		doi:10.1155/2010/207578	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
48	Kawasaki A, Ito S, Furukawa H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Kusaoi M, Ohashi J, Graham R R, Matsuta K, Behrens T W, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.	?Association of TNFAIP3 interacting protein 1, TNIP1 with systemic lupus erythematosus in a Japanese population : a case-control association study.	Arthritis Res. Ther.	12	R174	2010
49	Iizuka M, Wakamatsu E, Tsuboi H, Nakamura Y, Hayashi T, Matsui M, Goto D, Ito S, Matsumoto I, Sumida T.	Pathogenic role of immune response to M3 muscarinic acetylcholine receptor in Sjogren's syndrome-like sialoadenitis.	J.Autoimmunity	35(4)	383-389	2010
50	Shen N, Fu Q, Deng Y, Qian X, Zhao J, Kaufman KM, Wu YL, Yu CY, Tang Y, Chen JY, Yang W, Wong M, Kawasaki A, Tsuchiya N, Sumida T, Kawaguchi Y, Howe HS, Mok MY, Bang SY, Liu FL, Chang DM, Takasaki Y, Hashimoto H, Harley JB, Guthridge JM, Grossman JM, Cantor RM, Song YW, Bae SC, Chen S, Hahn BH, Lau YL, Tsao BP.	Gender Specific Association of X-linked TLR7 with Male Systemic Lupus Erythematosus.	Proc Natl Acad Sci USA	107(36)	15838-15843	2010
51	Doki K, Homma M, Hori T, Tomita T, Hasegawa Y, Ito S, Fukunaga K, Kaneko M, Chiba S, Sumida T, Ohkohchi N, Kohda Y.	Difference in blood tacrolimus concentration between ACMIA and MEIA in samples with low haematocrit values.	Journal of Pharmacy and Pharmacology.	62(9)	1185-1188	2010
52	Chen Q, Muramoto K, Masaaki N, Ding Y, Yang H, Mackey M, Li W, Inoue Y, Ackermann K, Shirota H, Matsumoto I, Spyvee M, Schiller S, Sumida T, Gusovsky F, Lamphier M.	A novel antagonist of the prostaglandin E(2) EP(4) receptor inhibits Th1 differentiation and Th17 expansion and is orally active in arthritis models.	Br J Pharmacol.	160(2)	292-310	2010
53	Tsuboi H, Matsumoto I, Wakamatsu E, Nakamura Y, Iizuka M, Hayashi T, Goto D, Ito S, Sumida T.	New epitopes and function of anti-M3 muscarinic acetylcholine receptor antibodies in patients with Sjogren's syndrome.	Clin. Exp. Immunol.	162	53-61	2010
54	Ogishima H, Ito S, Tsutsumi A, Sugihara M, Goto D, Matsumoto I, Obata-Yasuoka M, Hamada H, Yoshikawa H, Takahashi H, Murashima A, Sumida T.	High dose unfractionated heparin therapy in a pregnant patient with antiphospholipid syndrome: a case report.	International Journal of Rheumatic Diseases	13(3)	e32-e35	2010
55	Sumida T, Tsuboi H, Iizuka M, Nakamura Y, Matsumoto I.	Functional role of M3 muscarinic acetylcholine receptor (M3R) reactive T cells and anti-M3R autoantibodies in patients with Sjogren's syndrome.	Autoimmunity Reviews	9	615-617	2010
56	Suzuki T, Ito S, Handa S, Kose K, Okamoto Y, Minami M, Sugihara M, Horikoshi M, Tsuboi H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	New low-field extremity MRI, compaTscan: comparison with whole body 1.5 tesla conventional MRI.	Mod. Rheumatol.	20(4)	331-336	2010
57	Tashiro T, Nakagawa R, Inoue S, Omori-Miyake M, Chiba T, Fujii S, Shimizu K, Mori K, Yoshiga Y, Sumida T, Watarai H, Taniguchi M.	Induction of Th1-biased cytokine production by α -carba-GalCer, a neoglycolipid ligand for natural killer T cells.	Int.Immunol.	22(4)	319-328	2010
58	Umeda N, Ito S, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Sumida T.	A patient with rheumatoid arthritis who had a normal delivery under etanercept treatment. ?	Intern. Med.	49	187-189	2010
59	Segawa S, Goto D, Yoshiga Y, Sugihara M, Hayashi T, Chino Y, Matsumoto I, Ito S, Sumida T.	Inhibition of transforming growth factor- β signaling attenuates IL-18 plus IL-2-induced interstitial lung disease in mice.	Clin. Exp. Immunol.	160	394-402	2010
60	Ito I, Kawasaki A, Ito S, Kondo Y, Sugihara M, Horikoshi M, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Tsutsumi A, Takasaki Y, Hashimoto H, Matsuta K, Sumida T, Tsuchiya N.	Replication of association between FAM167A(C8orf13)-BLK region and rheumatoid arthritis in a Japanese population.	Ann. Rheum. Dis.	69	936-937	2010
61	Wang Y, Ito S, Chino Y, Goto D, Matsumoto I, Murata H, Tsutsumi A, Hayashi T, Uchida K, Usui J, Yamagata K, Sumida T.	Laser Microdissection-based Analysis of Cytokine Balance in the Kidneys of Patients with Lupus Nephritis.	Clin. Exp. Immunol.	159(1)	1-10	2010
62	Toshiyuki YAMAMOTO	Animal model of systemic sclerosis	J Dermatol	37	26-41	2010
63	Mami Yamamoto, Toshiyuki Yamamoto, Ryoji Tsuboi	Discoid lupus erythematosus in a patient with scleroderma and hepatitis C virus infection	Rheumatol Int	30	969-971	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
64	Nobuyuki Kikuchi, Erika Sakai, Akiko Nishibu, Mikio Ohtsuka and Toshiyuki Yamamoto	Primary Localized Cutaneous Amyloidosis in Patients with Scleroderma	Acta Derm Venereol	90(3)	326-327	2010
65	Matsushita R, Hashimoto A, Tomita T, Yoshikawa H, Tanaka S, Endo H	Enhancing expression of mRNA for FK-binding protein 5 in bone marrow CD34 positive cells in patients with rheumatoid arthritis	Clin Exp Rheumatol	28	87-90	2010
66	Kusunoki N, Kitahara K, Kojima F, Kaneko K, Endo H, Suguro T, Kawai S	Adiponectin stimulate prostaglandin E2 production in rheumatoid arthritis synovial fibroblast	Arthritis Rheum	62(6)	1641-1649	2010
67	橋本篤、手嶋智子、田中住明、廣畑俊成、遠藤平仁	肺高血圧症合併膠原病患者における酸化ストレスマーカーの測定	臨床リウマチ	22(3)	288 - 293	2010
68	遠藤平仁	C. 生物学的製剤 2. エタネルセプト	Modern Physician	30 (8)	1068 - 1070	2010
69	遠藤平仁	ボセンタン追加投与が有効であった原発性抗リン脂質抗体症候群の1例	Modern Physician	30	10 - 12	2010
70	Gono T, Kawaguchi Y, Hara M, Masuda I, Katsumata Y, Shinozaki M, Ota Y, Ozeki E, Yamanaka H	Increased ferritin predicts development and severity of acute interstitial lung disease as a complication of dermatomyositis	Rheumatology	49	1354-1360	2010
71	Gono T, Kawaguchi Y, Satoh T, Kawanana M, Katsumata Y, Takagi K, Masuda I, Tochimoto A, Baba S, Okamoto Y, Ota Y, Yamanaka H	Clinical Manifestation and prognostic factor in anti-Melanoma Differentiation-Associated Gene 5 antibody-associated interstitial lung disease as a complication of dermatomyositis	Rheumatology	49	1713-1719	2010
72	Sugiura T, Kawaguchi Y, Soejima M, Katsumata Y, Gono T, Baba S, Kawamoto M, Murakawa Y, Yamanaka H, Hara M	Increased HGF and c-Met in muscle tissues of polymyositis and dermatomyositis patients: Beneficial roles of HGF in muscle regeneration	Clin Immunol	136	387-399	2010
73	Gono T, Kawaguchi Y, Sugiura T, Ichida H, Takagi K, Katsumata Y, Hanaoka M, Okamoto Y, Ota Y, Yamanaka H	Interleukin-18 is a key mediator in dermatomyositis: potential contribution to development of interstitial lung disease	Rheumatology	49	1878-1881	2010
74	Ota Y, Kawaguchi Y, Takagi K, Tochimoto A, Kawamoto M, Katsumata Y, Gono T, Masuda I, Ikari K, Momohara S, Yamanaka H	Single nucleotide polymorphisms of CD244 gene predispose to renal and neuropsychiatric manifestations with systemic lupus erythematosus	Mod Rheumatol	20	427-431	2010
75	Gono T, Kawaguchi Y, Sugiura T, Furuya T, Kawamoto M, Hanaoka M, Yamanaka H	Interferon-induced helicase (IFIH1) polymorphism with systemic lupus erythematosus and dermatomyositis/polymyositis	Mod Rheumatol	20	466-470	2010
76	Katsumata Y, Harigai M, Kawaguchi Y, Fukasawa C, Soejima M, Kanno T, Nishimura K, Yamada T, Yamanaka H, Hara M	Diagnostic reliability of magnetic resonance imaging for central nervous system syndromes in systemic lupus erythematosus: a prospective cohort study	BMC Musculoskeletal Disorders	11	13	2010
77	Nishimoto K, Kochi Y, Ikari K, Yamamoto K, Suzuki A, Shimane K, Nakamura Y, Yano K, Iikuni N, Tsukahara S, Kamatani N, Okamoto H, Kaneko H, Kawaguchi Y, Hara M, Toyama Y, Horiuchi T, Tao K, Yasumoto K, Hamada D, Yasui N, Inoue H, Itakura M, Yamanaka H, Momohara S	Association study of TRAF1-C5 polymorphisms with susceptibility to rheumatoid arthritis and systemic lupus erythematosus in Japanese	Ann Rheum Dis	69	368-373	2010
78	Gono T, Kawaguchi Y, Katsumata Y, Takagi K, Tochimoto A, Baba S, Okamoto Y, Ota Y, Yamanaka H	Clinical manifestations of neurological involvement in primary Sjogren's syndrome	Clin Rheumatol			in press
79	Takagi K, Kawaguchi Y, Kawamoto M, Ota Y, Tochimoto A, Gono T, Katsumata Y, Takagi M, Hara M, Yamanaka H	Activation of the activin A-Alk-Smad pathway in systemic sclerosis	J Autoimmunity			in press
80	Gono T, Kawaguchi Y, Kaneko H, Nishimura K, Hanaoka M, Kataoka S, Okamoto Y, Katsumata Y, Yamanaka H	Anti-NR2A antibody as a predictor for neuropsychiatric systemic lupus erythematosus	Rheumatology			in press
81	Tochimoto A, Kawaguchi Y, Hara M, Tateishi M, Fukasawa C, Takagi K, Nishimagi E, Ota Y, Katsumata Y, Gono T, Tanaka E, Yamanaka H	Efficacy and safety of intravenous cyclophosphamide pulse therapy with oral prednisolone in the treatment of interstitial lung disease with systemic sclerosis: four-year follow-up	Mod Rheumatol			in press

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
82	Sugiura T, Kawaguchi Y, Ikari K, Ichida H, Kawamoto M, Momohara S, Hara M, Yamanaka H	Interleukin-18 promoter polymorphisms in Japanese patients with rheumatoid arthritis: protective effect of the T allele and T/T genotype at rs360722	Mod Rheumatol			in press
83	Kaneko Y, Suwa A, Hirakata M, Ikeda Y, Kuwana M	Clinical associations with autoantibody reactivities to individual components of U1 small nuclear ribonucleoprotein.	Lupus	19(3)	307-312	2010
84	Furuya Y, Satoh T, Kuwana M	Interleukin-6 as a potential therapeutic target for pulmonary arterial hypertension.	Int J Rheumatol	2010	720305	2010
85	Furuya Y, Okazaki Y, Kaji K, Sato S, Takehara K, Kuwana M	Mobilization of endothelial progenitor cells by intravenous cyclophosphamide in patients with systemic sclerosis: potential association with efficacy for interstitial lung disease.	Rheumatology	49(12)	2375-2380	2010
86	Yamaguchi Y, Okazaki Y, Seta N, Satoh T, Takahashi K, Ikezawa Z, Kuwana M	Enhanced angiogenic potency of monocytic endothelial progenitor cells in patients with systemic sclerosis.	Arthritis Res Ther	12(6)	R205	2010
87	桑名正隆	研修医のための膠原病診療ガイド（各論：頻度の高い膠原病）；強皮症．	臨床研修プラクティス	7(3)	38-44	2010
88	桑名正隆	肺動脈性肺高血圧症；膠原病と肺動脈性肺高血圧症．	循環器内科	67(5)	545-550	2010
89	桑名正隆	第4回癒痕・ケロイド治療研究会パネルディスカッション「臓器別線維化疾患の治療戦略－線維化疾患という観点からケロイドを考える－」；強皮症の新たな治療戦略．	癒痕・ケロイド治療ジャーナル	4	31-34	2010
90	桑名正隆	広範囲 血液・尿化学検査、免疫学的検査（3）-その数値をどう読むか-：免疫学的検査；自己抗体；抗RNAポリメラーゼ抗体．	日本臨床	68 (6,suppl)	537-540	2010
91	桑名正隆	広範囲 血液・尿化学検査、免疫学的検査（3）-その数値をどう読むか-：免疫学的検査；自己抗体；抗トポイソメラーゼI抗体（抗Sc1-70抗体）．	日本臨床	68 (6,suppl)	545-547	2010
92	桑名正隆、白井悠一郎	リウマチ性疾患の画像診断と評価；肺高血圧症の画像診断．	リウマチ科	44(2)	173-180	2010
93	白井悠一郎、桑名正隆	肺高血圧症の臨床における最新薬物治療；間質性肺疾患、肺高血圧症をともなった全身性強皮症の1例．	Modern Physician	30 (suppl)	46-48	2010
94	桑名正隆	膠原病－新たな治療戦略；膠原病診療の実際：全身性硬化症．	臨床と研究	87(9)	1209-1213	2010
95	桑名正隆	膠原病－その入り口から慢性期まで；強皮症．	診断と治療	98(10)	1621-1626	2010
96	巽浩一郎、桑名正隆、佐地勉、宮地克維	座談会；肺動脈性肺高血圧症の薬物治療の展開．	呼吸	29(10)	956-968	2010
97	桑名正隆、白井悠一郎、安岡秀剛	第11回肺高血圧症治療研究会シンポジウム：肺高血圧症治療におけるPGI2経口薬の位置付け2；膠原病性肺高血圧症に対するPGI2経口薬の使用経験．	Therapeutic Research	31(10)	1433-1435	2010
98	桑名正隆	話題；強皮症の早期診断．	リウマチ科	44(4)	464-472	2010
99	桑名正隆	新規に保険収載された検査法；抗RNAポリメラーゼIII抗体測定の実用性．	モダンメディア	56(11)	293-298	2010
100	Fujimoto M	Regulatory B cells in skin and connective tissue diseases J Dermatol Sci	60	1月7日	2010	
101	Odaka M, Hasegawa M, Hamaguchi Y, Ishiura N, Kumada S, Matsushita T, Komura K, Sato S, Takehara K, Fujimoto M	Autoantibody-mediated regulation of B cell responses by functional anti-CD22 autoantibodies in patients with systemic sclerosis	Clin Exp Immunol	159	176-184	2010
102	Yanaba K, Yoshizaki A, Muroi E, Hara T, Ogawa F, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S	CCL13 is a promising diagnostic marker for systemic sclerosis	Br J Dermatol	162(2)	332-336	2010
103	Okazaki S, Ogawa F, Iwata Y, Hara T, Muroi E, Komura K, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S	Autoantibody against caspase-3, an executioner of apoptosis, in patients with systemic sclerosis	Rheumatol Int	30(7)	971-878	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
104	Ogawa F, Shimizu K, Hara T, Muroi E, Komura K, Takenaka M, Hasegawa M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S	Autoantibody against one of the antioxidant repair enzymes, methionine sulfoxide reductase A, in systemic sclerosis: association with pulmonary fibrosis and vascular damage	Arch Dermatol Res	302(1)	27-35	2010
105	Hamaguchi Y, Fujimoto M, Hasegawa M, Matsushita T, Takehara K	Re-emergence of anti-topoisomerase I antibody with exacerbated development of skin sclerosis in a patient with systemic sclerosis	J Am Acad Dermatol	62	142-144	2010
106	Ishiura N, Nakashima H, Watanabe R, Kuwano Y, Adachi T, Takahashi Y, Tsubata T, Okochi H, Tamaki K, Tedder TF, Fujimoto M	Differential phosphorylation of functional tyrosines in CD19 modulates B-lymphocyte activation	Eur J Immunol	40	1192-1204	2010
107	Ogawa A, Yoshizaki A, Yanaba K, Ogawa F, Hara T, Muroi E, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Tedder TF, Sato S	The differential role of L-selectin and ICAM-1 in Th1-type and Th2-type contact hypersensitivity	J Invest Dermatol,	130	1558-1570	2010
108	Tomita H, Ogawa F, Hara T, Yanaba K, Iwata Y, Muroi E, Yoshizaki A, Komura K, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S	Elevated serum concentrations of triggering receptor expressed on myeloid cells-1 in diffuse cutaneous systemic sclerosis: association with severity of pulmonary fibrosis	J Rheumatol	37(4)	787-91	2010
109	Ito I, Kawaguchi Y, Kawasaki A, Hasegawa M, Ohashi J, Kawamoto M, Fujimoto M, Takehara K, Sato S, Hara M, Tsuchiya N	Association of the FAM167A-BLK region with systemic sclerosis	Arthritis Rheum	62(3)	890-895	2010
110	Nakashima H, Hamaguchi Y, Watanabe R, Ishiura N, Kuwano Y, Okochi H, Takahashi Y, Tamaki K, Sato S, Tedder TF, Fujimoto M	CD22 Expression Mediates the Regulatory Functions of Peritoneal B-1a Cells during the Remission Phase of Contact Hypersensitivity Reactions	J Immunol	184	4637-4645	2010
111	Haas KM, Watanabe R, Matsushita T, Nakashima H, Ishiura N, Okochi H, Fujimoto M, Tedder TF	Protective and pathogenic roles for B cells during systemic autoimmunity in NZB/W F1 mice	J Immunol	184	4789-4800	2010
112	Koreeda Y, Higashimoto I, Yamamoto M, Takahashi M, Kaji K, Fujimoto M, Kuwana M, Fukuda Y	Clinical and pathological findings of interstitial lung disease patients with anti-aminoacyl-tRNA synthetase autoantibodies.	Intern Med	49	361-369	2010
113	Hamaguchi Y, Hasegawa M, Tanaka C, Kumada S, Sato S, Takehara K, Fujimoto M	Elevated serum placenta growth factor (PlGF) levels in patients with systemic sclerosis: A possible role in the development of skin but not lung fibrosis	J Dermatol Sci	58	229-231	2010
114	Yoshizaki A, Yanaba K, Iwata Y, Komura K, Ogawa A, Akiyama Y, Muroi E, Hara T, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Tedder TF, Sato S	Cell adhesion molecules regulate fibrotic process via Th1/Th2/Th17 Cell balance in a bleomycin-induced scleroderma model	J Immunol	185(4)	2502-2515	2010
115	Yoshizaki A, Yanaba K, Yoshizaki A, Iwata Y, Komura K, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, Asano Y, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S	Treatment with rapamycin prevents fibrosis in tight-skin and bleomycin-induced mouse models of systemic sclerosis	Arthritis Rheum	62(8)	2476-2487	2010
116	Ueda-Hayakawa I, Hasegawa M, Kumada S, Tanaka C, Komura K, Hamaguchi Y, Takehara K, Fujimoto M	The usefulness of anti-cyclic citrullinated peptide antibody and rheumatoid factor to detect rheumatoid arthritis in patients with systemic sclerosis	Rheumatology	49	2135-2139	2010
117	Watanabe R, Ishiura N, Nakashima H, Kuwano Y, Okochi H, Tamaki K, Sato S, Tedder TF, Fujimoto M	Regulatory B cells (B10 cells) have a suppressive role in murine lupus: CD19 and B10 cell deficiency exacerbates systemic autoimmunity	J Immunol	184(9)	4801-4809	2010
118	Yoshizaki A, Yanaba K, Iwata Y, Komura K, Ogawa A, Muroi E, Ogawa F, Takenaka M, Shimizu K, Hasegawa M, Fujimoto M, Sato S	Elevated serum interleukin-27 levels in patients with systemic sclerosis: association with T cell, B cell and fibroblast activation	Ann Rheum Dis	in press		2010
119	Hasegawa M, Fujimoto M, Matsushita T, Hamaguchi Y, Takehara K, Sato S	Serum chemokine and cytokine levels as indicators of disease activity in patients with systemic sclerosis	Clin Rheumatol	in press		2010
120	藤本 学	制御性B細胞	感染 炎症 免疫	40	18-25	2010
121	藤本 学	全身性強皮症における分子標的療法	最新医学	65	982-986	2010
122	藤本 学	Th17系を標的とする抗体療法 Update -抗IL-12/23p40抗体と抗IL-17抗体-	実験医学	28	2036-2040	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
123	藤本 学	サイトカインを利用した治療・生物学的製剤 update/ 皮膚科医が知っておくべき生物学的製剤の知識 - 総論	MB Derma	169	1月7日	2010
124	藤本 学	膠原病と免疫	日皮会誌	120	2180-2185	2010
125	藤本 学	自己抗体の検索 (膠原病)	皮膚診	32	113-114	2010
126	Muroi E, Hara T, Yanaba K, Ogawa F, Yoshizaki A, Takenaka M, Shimizu K, Sato S	A portable dermatoscope for easy, rapid examination of periungual nailfold capillary changes in patients with systemic sclerosis	Rheumatol Int			2010
127	Koike Y, Muroi E, Yoshizaki A, Ogawa F, Yanaba K, Takenaka M, Shimizu K, Sato S	Autoantibody against survivin in patients with systemic sclerosis	J Rheumatol	37(9)	1864-70	2010
128	Shen N, Fu Q, Deng Y, Qian X, Zhao J, Kaufman KM, Wu YL, Yu CY, Tang Y, Chen J-Y, Yang W, Wong M, Kawasaki A, Tsuchiya N, Sumida T, Kawaguchi Y, Howe HS, Mok MY, Bang S-Y, Liu F-L, Chang D-M, Takasaki Y, Hashimoto H, Harley JB, Guthridge JM, Grossman JM, Cantor RM, Song YW, Bae S-C, Chen S, Hahn BH, Lau YL, Tsao BP.	Sex-specific association of X-linked Toll-like receptor 7 (TLR7) with male systemic lupus erythematosus.	Proc Natl Acad Sci USA	107	15838-15843	2010
129	Kawasaki A, Ito S, Furukawa H, Hayashi T, Goto D, Matsumoto I, Kusaoi M, Ohashi J, Graham RR, Matsuta K, Behrens TW, Tohma S, Takasaki Y, Hashimoto H, Sumida T, Tsuchiya N.	Association of TNFAIP3 interacting protein 1, TNIP1 with systemic lupus erythematosus in a Japanese population: a case-control association study.	Arthritis Res Ther	12	R174	2010
130	Hikami K, Kawasaki A, Ito I, Koga M, Ito S, Hayashi T, Matsumoto I, Tsutsumi A, Kusaoi M, Takasaki Y, Hashimoto H, Arinami T, Sumida T, Tsuchiya N.	Association of a functional polymorphism in the 3' untranslated region of SPI1 with systemic lupus erythematosus.	Arthritis Rheum	in press		2011
131	土屋尚之	遺伝子解析からみた全身性エリテマトーデス個別化医療の可能性	リウマチ科	43	166-170	2010
132	土屋尚之、伊東郁恵、川崎綾	IRF5, STAT4, BLK と全身性エリテマトーデスをはじめとする膠原病との関連	日本臨床免疫学会誌	33	57-65	2010
133	土屋尚之	ゲノミクスによる血管炎関連遺伝子の探索	炎症と免疫	18	502-508	2010
134	土屋尚之	膠原病の疾患感受性遺伝子解析	臨床と研究	87	1184-1189	2010
135	土屋尚之	膠原病のゲノム解析	カレントセラピー	28	884-890	2010
136	Tanaka C, Fujimoto M, Hamaguchi Y, Sato S, Takehara K, Hasegawa M	Inducible costimulator ligand (ICOSL) regulates bleomycin-induced lung and skin fibrosis independently of the ICOS-ICOSL pathway	Arthritis Rheum	62	1723-1732	2010
137	Hasegawa M	B lymphocytes: shedding new light on the pathogenesis of systemic sclerosis	J Dermatol,	37	3-10	2010
138	Hatano M, Yao A, Shiga T, Kinugawa K, Hirata Y, Nagai R	Imatinib mesylate has the potential to exert its efficacy by down-regulating the plasma concentration of platelet-derived growth factor in patients with pulmonary arterial hypertension	Int Heart J	51 (4)	272-276	2010
139	Seki S, Kato N, Ito N, Kinugawa K, Ono M, Motomura N, Yao A, Watanabe M, Imai Y, Takeda N, Inoue M, Hatano M, Kazuma K.	Translation and validation study of the Japanese versions of the Coronary Revascularisation Outcome Questionnaire (CROQ-J).	Eur J Cardiovasc Nurs		in press	
140	Shiga T, Kinugawa K, Hatano M, Yao A, Nishimura T, Endo M, Kato N, Hirata Y, Kyo S, Ono M, Nagai R.	Age and Preoperative Total Bilirubin Level Can Stratify Prognosis After Extracorporeal Pulsatile Left Ventricular Assist Device Implantation.	Circ J		in press	
141	浅野善英、佐藤伸一	難事性病態治療における最近の動向 強皮症 EULAR ガイドラインからみた治療選択 (解説 / 特集)	リウマチ科	44(3)	280--286	2010
142	浅野善英、佐藤伸一	膠原病 病態の理解と適切な治療 重要な臨床病態と適切な治療全身性強皮症 (解説 / 特集)	カレントセラピー	28(10)	0287-8445	2010